

フェリシアこども短期大学 再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組み内容

2024年5月 太陽光発電設備及び蓄電池設備設置

【再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組内容の公表資料】

■ 導入した設備の概要

【太陽電池モジュール】

- ・メーカー名： ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社
- ・型式名： NER108M415B-MD
- ・1枚あたりの公称最大出力： 415W
- ・設置枚数： 410枚
- ・公称最大出力合計： 170.15kW

【パワーコンディショナ】

- ・メーカー名： HUAWEI
- ・型式名： SUN2000-50KTL-JPM0
- ・1台あたりの定格出力： 50kW
- ・台数： 3台
- ・定格出力合計： 150.00kW

【ハイブリッド蓄電池】

- ・メーカー名： HUAWEI
- ・型式名： SUN2000-4.95KTL-JPL1
- ・1台あたりの定格出力： 4.95kW
- ・台数： 1台
- ・定格出力合計： 4.95kW
- ・型式名： LUNA2000-5-NHE0
- ・1台あたりの定格容量： 5.00kWh
- ・台数： 3台
- ・定格容量合計： 15.00kWh

■ 導入場所

学校法人明泉学園 フェリシアこども短期大学 校舎屋根
東京都町田市三輪町1135

■ 導入目的

太陽光発電システム及び蓄電池を導入し自家消費することのより、温室効果ガス排出の削減等といった社会貢献だけでなく、停電時の電力供給も可能となるため、万が一の際に登校・在校中の生徒や教職員の不安を減らし、安全を守ることを目的としている。

■ その他の事業者の再エネ設備導入の参考になる情報

【想定電力消費量と想定発電電力量】

- ・年間想定電力消費量： 387,164kWh/年
- ・年間想定発電電力量： 197,238kWh/年
- ・「年間想定電力消費量」に対する「年間想定発電電力量」の比率：50.9 %

【温室効果ガス排出抑制効果】

・太陽電池を利用して、日光を直接的に電力に変換する。発電そのものには燃料が不要で、運転中は温室効果ガスを排出しない。非常に少ない排出量で電力を供給する。

【副次効果】

- ・環境問題への社会的な貢献につながる。
- ・メンテナンス等にかかる手間が比較的少ない。
- ・断熱効果：夏は屋根への直射日光を遮ってより涼しく、冬は外部への放熱を抑えてより暖かくなる。

■ 省エネルギー対策の取組内容

- ・高効率照明器具の導入（LED化）。
- ・日中の時間帯は、共用部の照明をこまめにON/OFF。職員執務室の照明は一つおきに使用。
- ・空調機の室温設定は、夏28℃、冬20℃を基本とした管理を実施。